



岩瀬たけし

プロフィール

1977年生まれ。早稲田大学法学部卒業。
同大学院経営学修士号(MBA)取得。
三井化学(株)勤務後、国際協力機構(JICA)
等の専門家として、全世界20ヵ国以上で地
域開発事業に従事。国際的に働く妻、3歳
の息子、義母と大泉学園町在住。
第18期練馬区議会議員に初挑戦で当選。
市民の声ねりま副代表
●文教児童青少年委員会
●交通対策等特別委員会

練馬区議会議員 岩瀬たけしの議会報告

いわせて かわら版

2017年第5号 / 通算16号

ご挨拶

定例会では年に一度の一般質問を行いました。
これまでは性的マイノリティ、外国籍住民との多文
化共生、不登校支援、男性の子育て、待機児童問
題、地域のまちづくりなどを取り上げてきました。

今回は、特に皆さんからこの一年で寄せられた
ご相談の中から、練馬区全体として取り組むべき
ことを取り上げました。これから、一般質問でとり
あげた問題に区がどのように取り組んでいくか、
厳しくチェックしていきたいと思います。

今後も皆さんから頂いた声を議会に届けていき
ますので、ぜひご意見をお寄せください!

岩瀬 たけし

- 1 面 外国籍住民との共生について
- 2 面 小中学校のエアコンが効かない?
ねりまの緑が危機に!
- 3 面 精神障害の方への自立への支援について
学園町体育館が約半年閉鎖します/こらむ
- 4 面 大泉わくわく講座「地域から多文化共生を考える」

■LGBT 議員連盟

議会でも訴え続けてきた
LGBTの権利保障に関連し
て、自治体議員連盟が発
足。私も加入しました。

誰を好きになり、誰と生
きていくかということは基
本的な人権です。同性であ
るからといって差別や偏見
を受けることがあってはな
らないと思います。

行政は、“住民の理解が
進んでいない”ことを理由
に、LGBT施策に消極的で
す。しかし、住民の理解が進
んでいないことはやらない
理由にはなりません。
むしろ、理解を進めるため
にこそ、積極的に施策
を推進すべきです。
これからも訴え
続けます!



■外国籍住民との共生について



多文化共生政策にもっと重点を!

練馬区の未来を考える時に、重要なテーマの一つが多文化共生です。
区内では近年、急激に外国籍の住民が増加しています。

2016年末における区内の外国籍住民は、在留外国人統計によると
16,920名、全国の市区町村では16番目に多い数字です。

区はこれまで、人口が増え続けていることを宣伝してきましたが、実際
にはその多くを外国人に負っています。この一年だけをみても、新たに練
馬区の区民となったのは4,600名でしたが、そのうちの38%、1,760名が
外国籍の方でした。

地域に暮らす外国人が増えることは、本来なら、様々な文化や言語の
交流を通して、地域社会が活性化する大きな可能性を生むはずです。し
かし、多文化共生の取り組みが立ち遅れる中、文化や生活習慣の違いが
きっかけとなってむしろ誤解や偏見を生み、地域でのトラブルとなる場合
もあります。

本年度発足した国際交流・多文化共生に関する連絡会での議論を踏
まえ、多文化共生に関わるシステムや、事業の構築にふみこんでいくか
とともに、すでにある「国際交流多文化共生基本方針」についても事業計
画を策定し、具体的に活動することが必要です。

精神障害の方への自立支援について

一般質問

福祉手当と家賃補助の
早期実現を！

障害者の生活を支える福祉手当、練馬区ではこれまで精神障害者だけが対象とされていませんでした。知的や身体等の障害に比べて精神障害者だけが排除されていることに正当な根拠は見出せません。障害者基本法の成立によって、精神障害者に対する支援、福祉が法律上も位置づけられています。

福祉手当の対象者を精神障害にも広げることについて、練馬区議会では家族会から何度も陳情がなされ、今年の6月には、ついに所管の委員会、全会一致で採択されました。



23区では6区が既に支給を開始している中、練馬区でもただちに実施することを求めるとともに、他区のように、支給を一級に限定するのではなく、二級まで拡大すべきと訴えました。

あわせて、精神障害の方の経済的な自立を促進するために、一般の住居を含めた家賃補助の実現を訴えました。精神障害の方が地域の中で経済的に自立して生活するためにこれからも訴えていきたいと思っています。

学園町体育館が約半年閉鎖します

一般質問

体育館の改修は
利用者や職員への配慮を

大泉学園町体育館、2018年の夏ごろから大規模改修のため、約半年にわたって閉鎖されることになりました。

しかし、委託業者に対して、区が改修予定を説明したのは、業者決定の後でした。各社は5年間にわたる事業計画を立て、資金繰りや雇用確保を図ってきました。大規模改修が明らかになったことで様々な影響が出ています。特に影響を受けるのは職員の方です。体育館では地元の方を中心に62名の方が働いています。練馬区の判断と意向によって閉館となる以上、練馬区も事業者の経営と特に職員の雇用に対して十分な配慮を行うべきです。



利用者への影響も大きいものです。

学園町体育館の年間の利用者数は延べ20万人に達しています。半分はプール利用者で、多数の障害者の方が含まれています。障害者にとってプールは数少ない身近なスポーツの機会であり、リハビリなども含めて大変重要な場所となっています。

今後もしこうした皆さんが地域的にも離れた代替施設を円滑に利用するための配慮とともに、利用者の影響をなるべく少なくすることを前提に計画を進めることを求めています。

こらむ 「こんなに違う、地方議会」

無所属または一人会派議員に
与えられている一般質問の時間

15分	江東
16分	台東、横浜
20分	品川、渋谷、中央、港
25分	足立
27分	板橋
28分	江戸川
30分	文京
40分	葛飾、世田谷、豊島、相模原
60分	千代田
80分	北、新宿、千葉
120分	杉並、隅田

■質問時間に答弁時間も含める議会

40分	大田
45分	練馬(25分質問、20分答弁)
50分	荒川
60分	中野、目黒、川崎
86分	前橋
150分	宇都宮
180分	水戸

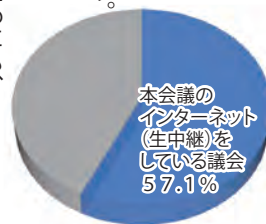
※2015年4月4日東京新聞をもとに作成

- 議会の放送方法
 - ✓ インターネット(録画) 72.6%
 - ✓ 庁舎内モニターテレビ 70.2%
 - インターネット(生中継) 57.1%
 - ケーブルテレビ 38.6%
 - 庁舎内音声放送 15.9%
 - 民放テレビ 0.4%
 - ラジオ 5.5%
 - その他の放送方法 6.6%
- 本会議場で使っても良いもの
 - 説明用パネル 39.0%
 - タブレット端末 15.1%
 - 議員のパソコン 8.2%
 - 説明用スクリーン 5.3%
- その他
 - 議会モニター制度の導入 2.0%
 - 議会の広報に外国語ページがある 11.1%



※全国市議会議長会による平成27(2015)年中の実態調査をもとに作成

議員になって驚いたことのひとつが、区議会が時代の流れに追いついていないことでした。他の自治体に比べても遅れています。象徴的な例として、練馬区では議会の中継も行われず、傍聴者が実況することも禁止されています。もちろん議場や委員会でのパソコンなどの電子機器の持ち込みも認められていません。区民の方にわかりやすく、また開かれた議会にするためにも、議会改革が必要だと改めて思いました。全国の地方議会について、まとめてみました。



岩瀬たけしの基本政策

- 「平和と人権」、「いのちとくらし」の区政を！
- 高齢者、障がい者、性的少数者、外国人など、多様性尊重の練馬へ！
- 「女性の活躍」のためにも、男性が地域と家庭で輝くまちへ！
- 子どもの個性を尊重し、世界で活躍する人材を！

新たな待機児童対策

問題山積み

3歳児1年保育は中止を！

練馬区は今年4月までに待機児童を解消するという目標を掲げていましたが、達成できませんでした。そして、今年度の目玉として3歳児1年保育を導入し80人の新たな定員を生み出すとしています。

この制度、練馬駅周辺に送迎保育ステーションを作り、そこからバスで区内3カ所の区立幼稚園へ子どもを運び、最長で1年の預かり保育を行う、というものです。

3歳児1年保育、あまりに多くの問題があります。例えば、保護者にとっては、ステーションと実際に保育を行う園で事業者が異なるため、どのような環境で保育をされているかを知ることができません。また、子どもが病気になる時など、園まで迎えにいかなくてはいいませんが、対象となる北大泉幼稚園では最寄りの大泉学園駅からバスも少なく、30分以上歩かなくてはいいけません。

財政上の負担も大きなものです。バス運営費として年額でおおよそ2,000万円がかかり、ステーションの賃借に3年で6,480万円、そのほかを合わせると合計で1億円をはるかに超える税金がこの事業に使われようとしています。

岩瀬にいわせて！



今回のステーション、保育園を建て替える際に用いる仮設の施設と同機能を想定し、面積や、人員配置基準も認可園と同程度としています。でしたら、ステーションではなく、その場所を活用して保育事業を開始すべきです。

3歳児1年保育は安定的に責任ある保育を行うという点で制度上、多くの問題を抱えています。こうしたやり方は中止すべきです。

ねりまの緑が危機に！

「みどり30」の堅持と

地域のみどりの保護を

この数年、息子と近所を散歩している中で、あれ、あそここの憩いの森がなくなってしまうたな、とか、あの緑地が宅地になってしまったな、といったことを感じる機会が増えていました。

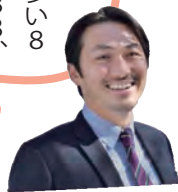
今年の3月に発表された「練馬区のみどり実態調査報告書」を見ると、懸念が的中していました。

練馬区のみどり、2012年からの5年間で大幅に減少しており、特に区内で緑被地面積が減少した町丁目の第5位が大泉学園町の3丁目となっていました。大泉学園町の1丁目から8丁目を見ると、2012年からのわずか5年間で7%近くが減少しています。

わずか5年でこれだけ多くの緑が失われていること、もともと緑豊かな大泉は現在、まちづくりを考える上でも大きな転機を迎えています。

現在、改訂にむけて、次期「みどりの基本計画」の検討が続いています。大きな焦点の一つが「みどり30」の扱いです。現在の基本計画は、緑の整備目標として緑被率30%を目指すことを謳ってきました。緑被率30%は、練馬区が1970年代以降掲げ続けてきた大きな目標でした。しかし、都市の利便性を追い求め、都市計画道路の整備を急ぐ区政のもとで、宅地化・都市化の波は一気に強まり、「みどり30」の目標自体を放棄しようとしています。

岩瀬にいわせて！



大泉学園町には、練馬区で最も多い80件の生産緑地が存在し、面積も233,700㎡に及んでいることから、こうした緑をどのように保護するかも含めて、かつての質・量ともに豊かなみどりを誇った姿を取り戻そうという「みどり30」を堅持すべきです。

エアコンが効かない？

一般質問

区内の小中学校のエアコンの

再点検と契約の管理を！

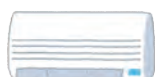
先日、地域の小学校の保護者から「暑い時期なのに、エアコンが効かず困っている」という相談がありました。

調査の結果学校に設置されている21台のエアコンのうち、19台が機能せず、機械内部の分解洗浄が必要だとわかりました。区に確認したところ、これは一つの小学校だけの問題ではありませんでした。

練馬区では、2008年に10年間のリース契約を締結し、全ての小中学校や幼稚園等にエアコンを設置しました。しかし、昨年度から問題が続いていて、今年の8月までに小中学校あわせて132台もの機器で分解洗浄が必要となっています。

このことから、業者の杜撰な対応とともに区の不適切な契約管理が明らかになっています。エアコンの不具合、毎年の点検では、一件も発見できませんでした。保護者や学校からの訴えが無ければ、そのままの状況が続いていたわけです。また、多数のエアコンで分解洗浄が必要となる中で、だれが経費を負担するのも問題です。契約書では「メンテナンスはフルメンテナンスとし、部品および経費は賃貸者負担とする。」としています。しかし、分解洗浄は全額を区が負担しています。契約書では「本要領に明示の事項が無い場合、区担当者と協議する」となっていますが、メンテナンスの内容の協議の経緯や結果を記した書類は一切なく、契約の解釈は業者の主張をそのまま受け入れたものになっています。区民の貴重な税金を支出する手続きとしては極めて不透明で、財政支出を行うことは納得できるものではありません。

この件を通じて、区の契約管理の在り方を再点検するとともに、小中学校における子ども達の教育環境がしっかりと守られることを改めて求めていきたいと思っています。



市民の声
ねりま

岩瀬たけしが所属する会派、市民の声ねりまの機関紙「いぶき」購読料1,000円(年4回送料込)

市民の声ねりまは、一人ひとりの市民の思いをつなぎ、声を区政に届けます。

「ともに生きるともにつくる」まちと政治、池尻成二と岩瀬たけし、二人の議員を先頭にがんばっています！

申込・お問合せ 〒178-0061 練馬区大泉学園町3-1-32-205 岩瀬たけし事務所(03-5935-4071)

地域から、多文化共生を考える

自らを危険にさらしてまで、子どもが教育を受ける権利のために立ち上がったマララさん。日本でも様々な形で私たちの自由や権利が侵害されつつある現在、『わたしはマララ』を翻訳された海外児童文学翻訳家の金原瑞人さん、西田佳子さんと一緒に考えます。

また、お二人から他言語を日本語に訳す、翻訳することを通して、異なる文化をどのように伝えるかを学びたいと思います。

■11月19日(日)14:00～16:00

■大泉北地域集会所

(練馬区大泉学園町4-2-1)

■事前予約制、会場・資料代500円

■申込先: 03-5935-4071

lwaseteNerima@gmail.com

キッズスペース有ります!



金原瑞人

翻訳家、英文学者
法政大学社会学部教授
児童書やヤングアダルトむけの作品のほか、一般書、ノンフィクションなど、翻訳書は500点以上。



西田佳子

翻訳家
一般向け小説、ミステリを中心としたエンターテインメント、ヤングアダルト、ノンフィクションなど。

■当日プログラム

13:30 開場

14:00 開始

1. マララさんから学ぶこと
2. 翻訳から考える多文化共生
3. 地域から多文化共生を考える
4. 質疑応答

16:00 終了

わたしは マララ

教育のために立ち上がり、
タリバンに撃たれた少女



Girls' education rights campaigner and Nobel Peace Prize winner, Malala Yousafzai at Girl Summit 2014 by DFID - UK Department for International Development (2014) <https://www.flickr.com/photos/dfid/14714344864/>
Attribution (<http://creativecommons.org/licenses/by/2.0/>)
Photo Attribution by PhotosForWork.com

- 大泉わくわく講座 2カ月に1回程度、地域に関する課題について勉強会などを行っています
- 駅頭でのご報告 毎週、水・木・金曜日の朝7時～大泉学園駅、保谷駅等で活動報告を行っています
- いわせてかわら版 年4回の議会ごとに区政報告とイベント等をお知らせしています
- メルマガ 日々の活動を配信しています
- 公式サイト <http://iwasetakeshi.net/>



岩瀬たけし



お気軽にお問合せください!

◆岩瀬たけし事務所 〒178-0061 練馬区大泉学園町3-1-32-205

TEL/FAX: 03-5935-4071 E-mail: lwaseteNerima@gmail.com

◆事務所開所日 毎週火曜・木曜10:00～17:00(祝日をのぞく)

